

平成二十六年十一月投句

【天濠公園】

落葉搔日の温もりも籠に詰め

ギヤツと声落とし冬立つ鷺の空

もう粘りなき蜘蛛の糸風は冬

勝利

亡き犬の匂ひ嗅ぐ犬落葉径

真理子

軒下を猫小走りに初時雨

落葉掃きまた落葉して暮るゝかな

団栗の集まる森のくぼみかな

澄む水にひよいと魚を銜へし鵜

地下を出る階段に切れ秋の空

節子

四方より手締の声や酉の市

由紀子

サイカチの棘に刺しあり五円玉

愛想なき珈琲店主夕時雨

幸せは簡単なもの落葉掃く

モノクロの写真懐かし七五三

光子

【お休み】

佳与子

来ぬバスを蓮の実投げて待ちにけり